

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年11月))

◎注意事項をよくお読み下さい



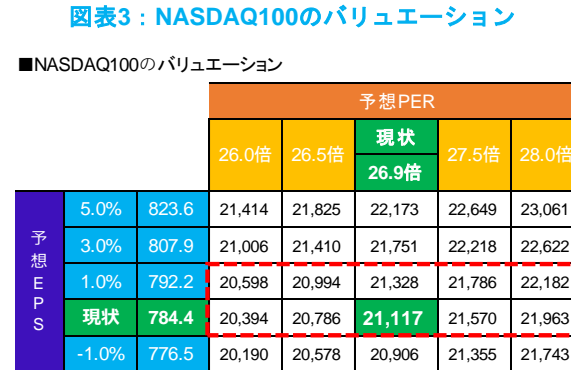
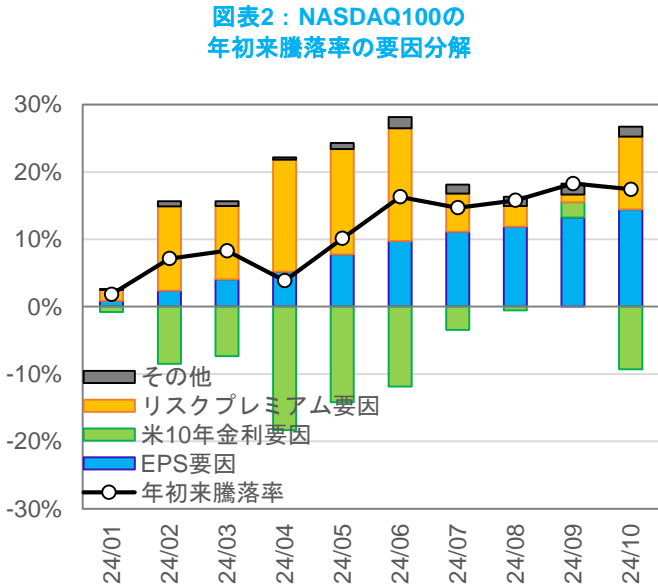
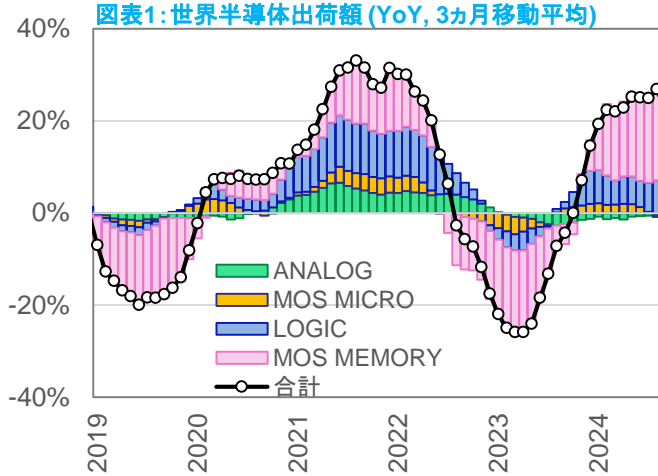
9月世界半導体出荷額 : LOGICの好調とMEMORYの回復が続く

➤ WSTS(世界半導体市場統計)によると、9月の世界半導体出荷額(振れが大きいいため3カ月移動平均値)は、前年比+22.2%(前月: +26.9%)と前月からは減速した(図表1)。主な種類別の動向をみると、LOGICが引き続き好調で前年比+17.9%(前月+17.0%)、MEMORYは昨年3月を底とする回復傾向が継続し、前年比+82.5%(前月+97.3%)となった。

➤ AIへの注目が集まる中、その恩恵を受けやすいLOGICやMEMORYの好調が目立った。全体の成長率もこうした種類の半導体が成長をけん引した。成長率の減速は、発射台の高さ故であり、半導体市場の拡大自体は継続している。AIの恩恵を受けるLOGICやMEMORYが半導体市場をけん引する構図は継続する公算が大きい。

➤ 米主要ハイテク株中心に構成されるNASDAQ100の前年比は、米10年金利、EPS、リスクプレミアム(NASDAQ100の益回りー米10年金利)で説明できる。上述の通りファンダメンタルズは良好であり、実際、EPSは成長率こそ鈍化傾向も水準自体は伸び続けている(図表2)。もっとも、2024年10月の株価は大統領選でのトランプ氏勝利とインフレ再燃懸念から金利が上昇し、前月対比では横ばいであった。

➤ 今後を展望すると、トランプ氏の政策にインフレ再燃懸念があるとは言え、ここもとの金利上昇はやや過剰に見える。ボラティリティの高まりがTerm Premium経由で金利を押し上げている部分については、大統領選を通過したことで、今後は金利低下方向に寄与するとみられる。ファンダメンタルズ、バリュエーションの両面から株価は上昇する公算が大きいとみる。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

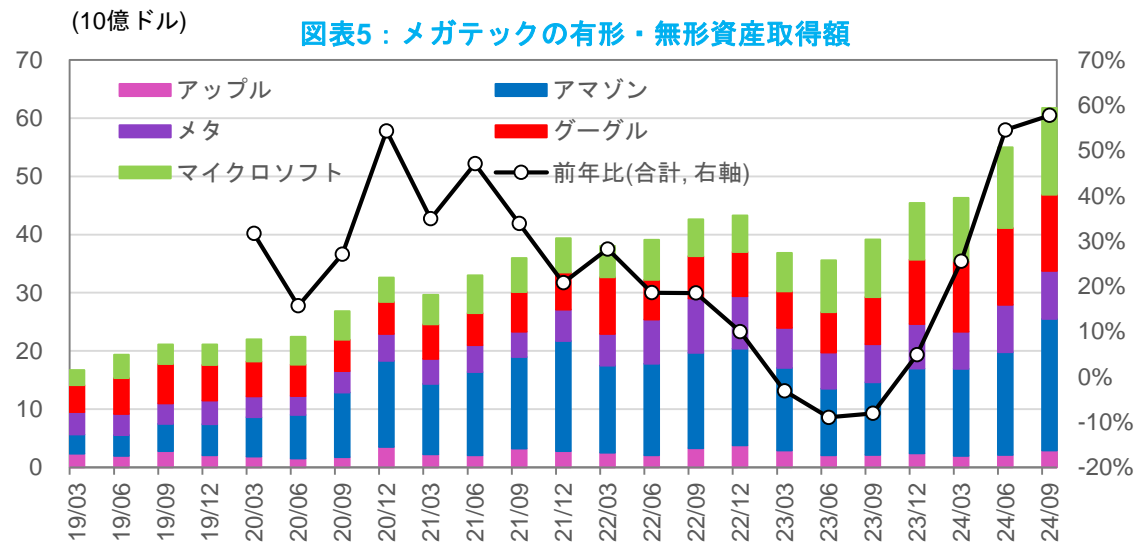
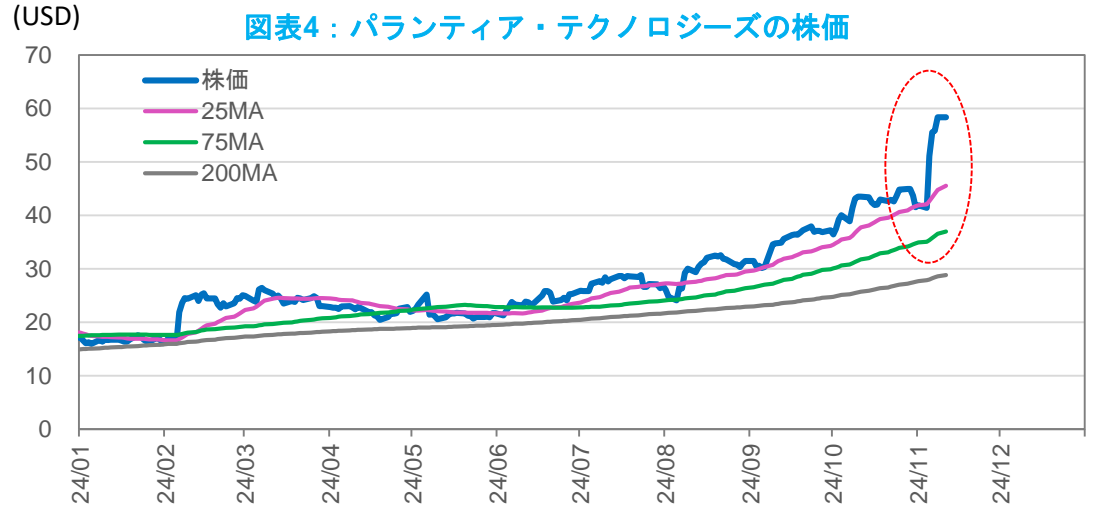
2024/11/11

りそなホールディングス 市場企画部
ストラテジスト: 武居 大輝

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年11月))

◎今後の注目ポイント: AIの活用と先端半導体

- ▶ 大統領選を通過し、今後は滞留していた資金が一気に株式市場に振り向けられ、株高となる公算が大きい。特に、株式市場に友好的で各種規制緩和に前向きなトランプ氏の勝利は、ハイテク株式市場にとってポジティブだろう。実際、トランプ氏の在任期間におけるSP500のセクター別パフォーマンスを見ると、ハイテク株が上位を占めている(補足参照)。
- ▶ 2025年以降の株式相場は、過去の再現となるだろうか。基本的に、筆者は、ハイテク株は前回同様上昇する公算が大きいと見ているが、前回との対比では、ハイテク株の中でも、ソフトウェア・サービスと先端半導体に投資妙味があると見ている。
- ▶ 大統領選直後に、株価が急伸した銘柄に、パランティア・テクノロジーズがある(図表4)。同社は、ビッグデータ分析のためのソフトウェア・プラットフォームを専門としている。
例えば、同社の顧客としては米軍が挙げられる。3月には、AIと機械学習を活用した米陸軍の新しいターゲットングシステム「TITAN」の開発と納入で、1億7840万ドルの契約を受注したと発表した。TITANは、宇宙から地上までの各種センサーからのデータを統合し、攻撃目標の自動認識や正確な位置特定を行う地上局システムである。この様に、今後は、AIの性能から、AIを使って何ができるのか、その活用方法に注目が集まっていくだろう。
- ▶ とはいえ、AI投資自体も、各社がその性能を競って、旺盛となる見込みである。米メタのザッカーバーグCEOは、直近の決算で「事業機会はとても大きい。大規模な投資を続けていく」と話した。米メタをはじめ、米メガテックは、AIを新たな成長の軸と考え、成長を加速させている(図表5)。こうした中においては、先端半導体への強い需要も継続する公算が大きい。



出所: Bloomberg

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年11月))



○(補足) トランプ氏在任期間のSP500セクター別パフォーマンス

	2016年末 ⇒2017年末	2017年末 ⇒2018年末	2018年末 ⇒2019年末	2019年末 ⇒2020年末	合計
テクノロジー・ハード・機器	37.9%	-4.5%	59.6%	58.1%	232.6%
ソフトウェア・サービス	36.6%	3.3%	42.6%	34.0%	169.7%
小売り	29.1%	12.6%	25.5%	45.5%	165.3%
半導体・同製造装置	35.9%	-10.6%	48.2%	42.4%	156.2%
ヘルスケア機器・サービス	29.0%	8.6%	23.3%	14.4%	97.6%
商業・専門サービス	9.4%	-3.1%	37.2%	22.0%	77.4%
メディア・娯楽	6.8%	-10.9%	33.6%	31.2%	66.9%
家庭・パーソナル用品	13.2%	-4.2%	30.7%	13.9%	61.4%
消費者サービス	29.6%	-3.4%	26.4%	1.3%	60.2%
耐久消費財・アパレル	16.6%	-13.3%	32.3%	18.4%	58.3%
食・生活必需品小売	11.0%	-0.7%	24.6%	14.5%	57.2%
運輸	21.3%	-9.8%	18.8%	18.7%	54.3%
各種金融	23.3%	-11.0%	22.8%	9.8%	48.0%
医薬品・バイオテック	14.5%	2.1%	15.2%	8.6%	46.3%
素材	21.4%	-16.4%	21.9%	18.1%	46.0%
資本財	18.5%	-17.5%	28.3%	4.7%	31.3%
公益事業	8.3%	0.5%	22.2%	-2.8%	29.3%
保険	13.8%	-13.2%	26.3%	-3.1%	21.0%
不動産	7.2%	-5.6%	24.9%	-5.2%	19.8%
銀行	20.0%	-18.4%	36.5%	-16.8%	11.2%
食品・飲料・タバコ	9.1%	-17.8%	20.6%	1.7%	10.1%
自動車・自動車部品	15.2%	-29.0%	20.1%	10.1%	8.1%
電気通信サービス	-6.0%	-11.7%	20.5%	-11.2%	-11.2%
エネルギー	-3.8%	-20.5%	7.6%	-37.3%	-48.4%
米10年金利(平均)	2.3%	2.9%	2.1%	0.8%	2.0%
ISM製造業景況感指数	57.4	58.8	51.2	52.4	55.0

出所: Bloomberg

◎注意事項

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年11月))

No	発行日	テーマ	タイトル
82	2024/9/24	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(9月9日~9月13日)
83	2024/9/24	日本株, 米国株	日米欧 Market View : シン・ブラックマンデーを巡る論点整理
84	2024/9/27	日本経済	日米欧 Market View : 8月物価オルタナティブデータ~日経CPINow
85	2024/9/27	日本経済	日米欧 Market View : 8月賃金オルタナティブデータ~HRog賃金Now
86	2024/9/30	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(9月17日~9月20日)
87	2024/10/2	米国経済	日米欧 Market View : 9月ISM製造業景況感指数
88	2024/10/2	日本株, 米国株	日米欧 Market View : 10月日米株バリュエーション~日本 : 弱気、米国 : 中立
89	2024/10/2	日本株	日米欧 Market View : 日本株 9月セクター動向と10月見通し
90	2024/10/2	日本株, 日本政治	日米欧 Market View : 自民党総裁選ショックを巡る論点整理
91	2024/10/3	欧州経済	日米欧 Market View : 9月ユーロ圏物価動向
92	2024/10/4	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給 (9月24日~9月27日)
93	2024/10/7	米国経済	日米欧 Market View : 9月雇用統計
94	2024/10/11	半導体, 日本株, 米国株	日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年10月)
95	2024/10/11	米国経済	日米欧 Market View : 9月CPI
96	2024/10/11	コモディティ	日米欧 Market View : 9月WTI原油先物価格
97	2024/10/11	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(9月30日~10月4日)
98	2024/10/18	豪州経済	日米欧 Market View : 10月豪州概況
99	2024/10/18	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
100	2024/10/23	欧州経済	日米欧 Market View : 10月ユーロ概況
101	2024/10/30	日本経済	日米欧 Market View : 9月物価オルタナティブデータ~日経CPINow
102	2024/10/30	日本経済	日米欧 Market View : 9月賃金オルタナティブデータ~HRog賃金Now
103	2024/11/1	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏GDP統計
104	2024/11/1	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給 (10月21日~10月25日)
105	2024/11/5	日本株	日米欧 Market View : 日本株 10月セクター動向と11月見通し
106	2024/11/5	米国経済	日米欧 Market View : 10月ISM製造業景況感指数
107	2024/11/5	米国経済	日米欧 Market View : 10月雇用統計
108	2024/11/5	日本株, 米国株	日米欧 Market View : 11月日米株バリュエーション~日本 : 中立、米国 : 強気
109	2024/11/5	欧州経済	日米欧 Market View : 10月ユーロ圏物価動向
110	2024/11/8	米国経済	日米欧 Market View : 11月FOMC
111	2024/11/8	米国政治, 米国株	2024年米大統領選挙結果のマーケットへの影響

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。